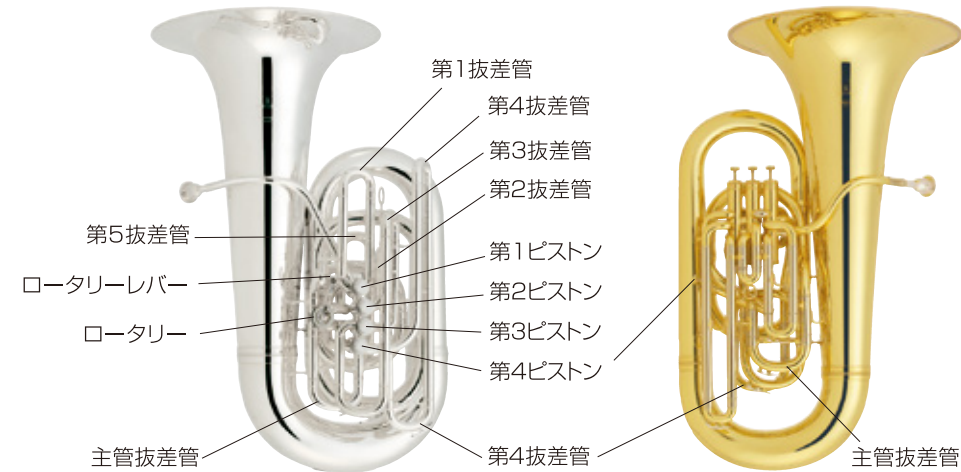


【ピストン】



【ロータリー】



■銀めっき仕上げについて

めっき加工されている金属部分は、その性質上で使用にともない変色、摩耗します。

また、ゴム製品、石油製品、排気ガスや火山性ガスに含まれる硫化ガスにより変色することがありますが、ご使用には影響ありません。

金属の腐食、摩耗が激しい場合は、お買い上げ店または弊社サービスセンターへご相談ください。

■ラッカー仕上げについて

ラッカー塗装の材質は樹脂のため、ご使用にともない摩耗したり、剥離する場合があります。また、経年変化により金属が変色する場合があります。

いずれの場合もご使用には影響ありませんが、金属の腐食・摩耗が激しい場合は、お買い上げ店または弊社サービスセンターへご相談ください。

■ご注意ください

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 小さな部品を誤飲する恐れがあるため、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 針のように鋭い部品を使用していますので、取り扱いには十分注意してください。
- 破損がある場合は、使用を中止してください。

BUFFET CRAMPON

株式会社 ビュッフェ・克蘭ボン・ジャパン

〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-17
TEL.03(5632)5511 FAX.03(5632)5526

営業時間 10:00~18:00(日・月曜日、祝日定休)

ショールーム TEL.03(5632)5728

サービスセンター TEL.03(5632)5524 (※10:00~17:30)

取り扱い説明書

〈ベッソン〉〈B&S〉〈メルトン・マイネル・ウエストン〉

テューバ

掲載コンテンツの内容、テキスト、画像等の無断転載を固く禁じます。



銀めっき仕上げ



ラッカー仕上げ

掲載コンテンツの内容、テキスト、画像等の無断転載を固く禁じます。



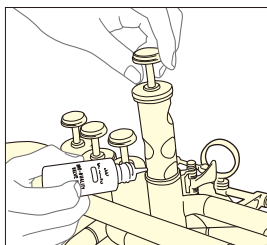
BUFFET CRAMPON

■演奏前の準備

【バルブオイルの注油】

【ピストン】

1. トップキャップを外し、ピストンを途中までまっすぐゆっくり抜きます。
2. ピストンにバルブオイルをさします。
3. ピストンをバルブケーシングに戻します。
トップキャップを締めた後、数回ピストンを上下させ、バルブオイルをなじませます。



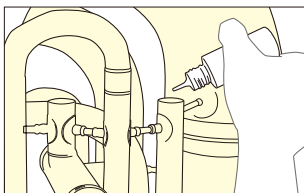
ピストンはまっすぐ真上から押してください。

ピストンは、ななめの方向から押すと動作不良の原因となります。まっすぐ真上から押してください。

【ロータリー】

1. レバーを押しながら抜差管を取り外し、図のようにロータリーバルブオイルをロータリーにさします(1箇所当たり2～3滴)。

レバーの動きが悪くなった時に、この注油を行ってください。管体内側に付いているグリスがオイルと混ざらないように注油してください。



2. レバーを動かし、オイルをなじませます。

【マウスピースの取り付け】

マウスピースを軽く差し込みます。
強く差し込むと抜けなくなることがあるので注意しましょう。

■演奏後のお手入れ

【水抜きとバルブオイルの注油】

1. ピストンを押しながら各抜差管を取り外し、管内の水分を充分に抜いてください。
2. 演奏前と同様に、ピストンにはバルブオイル、ロータリーにはロータリーオイルをさしてください。

【楽器表面のお手入れ】

楽器の表面をクリーニングクロスでやさしく拭いてください。

■演奏前の点検

ピストンフェルトなどの消耗品が劣化していませんか？

ピストンフェルトが劣化していると、金属音の原因になります。新しいピストンフェルトに交換してください。

息漏れをしていませんか？

ウォーターキーのパッドが劣化していると息漏れが生じる場合があります。新しいパッドに交換してください。

ネジ類がゆるんでいませんか？

ネジ類がゆるんでいると金属音の原因になります。ネジ類はきちんと締めてご使用ください。

抜差管はまっすぐ抜き差し

抜差管は2本の管で構成されています。両方の管に均等な力が加わるようにまっすぐ抜き差ししましょう。特に短い管は抜きにくいので注意して抜き差ししてください。

■定期的なお手入れ

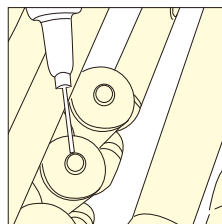
【ピストンとバルブケーシングのお手入れ】

1. トップキャップを外しピストンを抜き取ります。ボトムキャップも外します。
2. クリーニングロッドにガーゼを巻き付け、バルブケーシングの内側の汚れを拭き取ります。
3. ピストンの汚れを拭き取ります。
4. 「演奏前の準備【バルブオイルの注油】3.」の要領で、ピストンをバルブケーシングに戻します。
5. ボトムキャップをバルブケーシングに戻します。

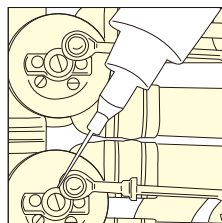
【ロータリーのお手入れ】

1. ロータリーバルブのキャップを外し、ロータリーの中央と軸を支えている部分に、ロータースピンドルオイルを少量さします。

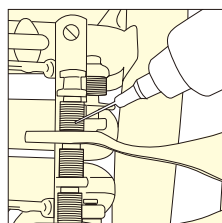
その後、余分なオイルは拭き取りましょう。オイルをさし終わったら、キャップを閉めてオイルがよくなじむようにレバーを動かしましょう。



2. ロータリー回転軸と軸受けにも同様に、ロータースピンドルオイルを少量さします。



3. レバーの支持台の軸受け部にはレバーオイルを少量さしてください。



▶ピストンとバルブケーシングはミクロン単位による精密な加工により制作されています。お取り扱いには充分ご注意ください。ピストンとバルブケーシングに汚れがたまると動作不良の原因となります。定期的なお手入れを心がけてください。
また、管内に汚れが多量にたまっていると音抜け・音程が悪くなります。手順に従って楽器を洗浄してください。

▶ロータリーバルブは、ミクロン単位による精密な加工により製作されています。お取り扱いには充分ご注意ください。ロータリーバルブに汚れがたまると動作不良の原因となります。定期的なお手入れを心がけてください。

【各抜差管のお手入れ】

1. 各抜差管の古いグリスを拭き取り、新しいスライドグリスを塗ります。……………▶ 抜差管は汚れがたまると動きが悪くなり、固着の原因となります。定期的なお手入れを心がけてください。
2. 抜差管にグリスをなじませるように、2～3回スライドさせてください。

【マウスピースのお手入れ】

マウスピースは、マウスピースブラシに中性洗剤を含ませ、内部にブラシを通した後、きれいな水で十分に洗い流してください。

■楽器の洗浄

管内の汚れがひどい場合や、砂埃などの異物が混入した場合は、お買い上げ店または弊社サービスセンターへご相談ください。

■取り扱いの注意

錆(サビ)に注意しましょう。

トップキャップ、ボトムキャップは水分により錆が生じやすい部分です。キャップを締めたまま長期間放置せず、定期的に開け閉めしてください。

■こんな時は

お買い上げ店または弊社サービスセンターにご相談ください。

衝撃でゆがんでしまった。

衝撃を受けると管体がゆがんだり、可動部が変形して動作不良の原因となる場合があります。

異物が取れない。

管内にさまざまな異物(バルブオイル、クロス等)などが入り込み、取れなくなることがあります。

ハンダが外れてしまった。

ハンダが外れていると金属が共振し、異音が生じる場合があります。

掲載コンテンツの内容、テキスト、画像等の無断転載を固く禁じます。